

国 交 省

無電柱化など推進

道路整備 中計骨子案を公表

国土交通省は24日、向こう10年間の道路整備事業の方向性を定めた中期計画の骨子案を公表した。同案は06年12月に閣議決定された「道路特定財源の見直しに関する員体策」に基づき同省が作成を進めているもので、取り組むべき政策課題として道路空間を利用した

温暖化対策や、電線共同溝建設による「無電柱化」推進などを盛り込んでい

様な主体との連携——を
あげた。
計画に沿って進める重点方針のうち、「無電柱化」については、中心市街地で人通りが多い道路や、歴史的街並みを保存するべき地区の道路、人口が集中する地区で災害時に物資輸送路となる道路で集中的に実施すると
温暖化対応では、自動車からの二酸化炭素（CO₂）排出量を抑えるだけでなく、道路空間の植樹などを通じてCO₂を吸収する対策を講じる対策、遮音壁などに太陽光パネルを設置するなど道路空間での新エネルギー活用を打ち出している。

る。同省はこの骨子案に対するパブリックコメントを行い、同計画の最終案に反映させる方針。

骨子案は計画推進の「基本的視点」として①選択と集中による効果的な事業の実施②厳格な事